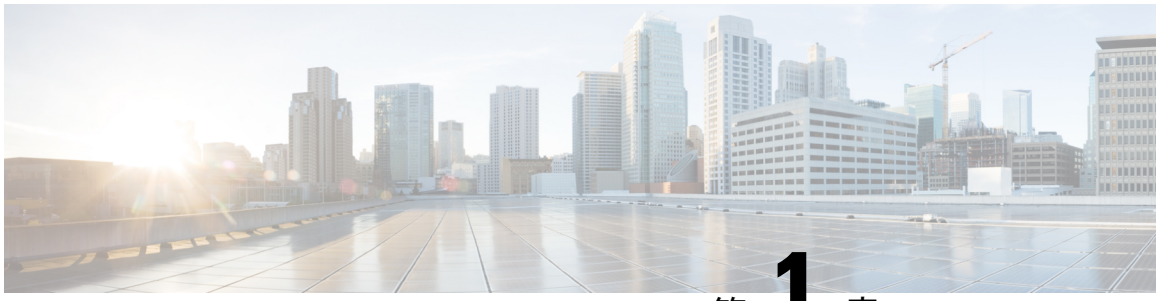
Cisco Secure Firewall 4200 ASA スタートアップガイド

最終更新：2025 年 10 月 22 日

シスコシステムズ合同会社
〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー
http://www.cisco.com/jp
お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター
0120-092-255 （フリーコール、携帯・PHS含む）
電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00
http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/



第 1 章

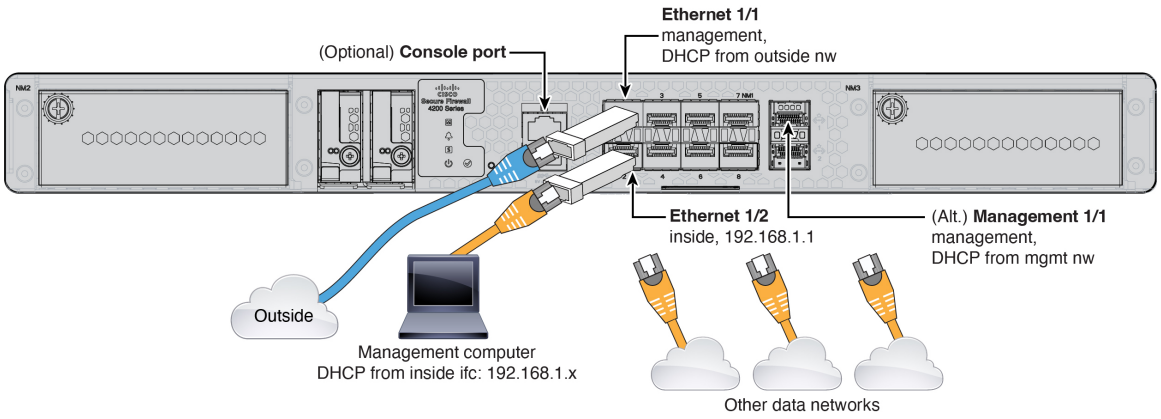
はじめる前に

ASDM を使用して ASA を設定します。

（注） Cisco Secure Firewall 4200 は、アプライアンスモードでのみ実行されます。FXOS をシャーシマネージャとして使用するプラットフォームモードはサポートされていません。アプライアンスモードでは、ASA のすべての設定を行うことができます。FXOS CLI からは、高度なトラブルシューティング コマンドのみ使用できます。

ファイアウォールのケーブル接続

- （オプション）コンソールケーブルを入手します。デフォルトではファイアウォールにコンソールケーブルが付属していないため、サードパーティの USB-to-RJ-45 シリアルケーブルなどを購入する必要があります。
- データインターフェイスおよびオプションの管理ポートに SFP を取り付けます。組み込みポートは、SFP/SFP+/SFP28 モジュールを必要とする 1/10/25 Gb SFP28 ポートです。
- 詳細については、ハードウェア設置ガイドを参照してください。



ファイアウォールの電源の投入

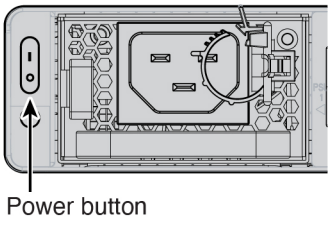
システムの電源は、ファイアウォールの背面にあるロッカー電源スイッチによって制御されます。ロッカー電源スイッチは、ソフト通知を提供します。これにより、システムのグレースフルシャットダウンがサポートされ、システムソフトウェアおよびデータの破損のリスクが軽減されます。

手順

ステップ 1 電源コードをファイアウォールに接続し、電源コンセントに接続します。

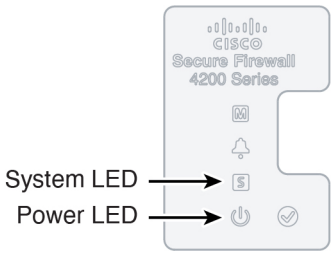
ステップ 2 シャーシの背面で、電源コードに隣接するロッカー電源スイッチを使用して電源をオンにします。

図 *1*:電源ボタン



ステップ 3 LED の現在のステータスを確認します。

図 *2 : LED*



- 電源 LED：緑色に点灯している場合は、ファイアウォールの電源がオンになっていることを意味します。
- システム（S）LED：次の動作を参照してください。

表 *1 :* システム（*S*）*LED* の動作

LED の動作	説明	デバイスの電源を入れた後の時間（分 : 秒）
緑色で高速点滅	起動中	01:00
オレンジ色で高速点滅（エラー状態）	起動に失敗しました	01:00
緑色で点灯	アプリケーションがロードされました	15:00 ～ 30:00
オレンジ色で点灯（エラー状態）	アプリケーションのロードに失敗しました	15:00 ～ 30:00

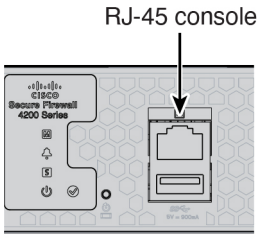
インストールされているアプリケーション（Firewall Threat Defense または ASA）の確認

Firewall Threat Defense と ASA の両方のアプリケーションが、ハードウェアでサポートされています。コンソールポートに接続し、出荷時にインストールされているアプリケーションを確認します。

手順

ステップ 1 コンソールポートに接続します。

図 *3:* コンソール ポート



ステップ 2 CLI プロンプトを参照して、ファイアウォールで Firewall Threat Defense または ASA が実行されているかどうかを確認します。

Firewall Threat Defense

Firepower ログイン（FXOS）プロンプトが表示されます。ログインして新しいパスワードを設定せずに、切断することができます。

```
firepower login:
```

ASA

ASA プロンプトが表示されます。

```
ciscoasa>
```

ステップ 3 間違ったアプリケーションが実行されている場合は、Cisco Secure Firewall ASA および Secure Firewall Threat Defense 再イメージ化ガイドを参照してください。

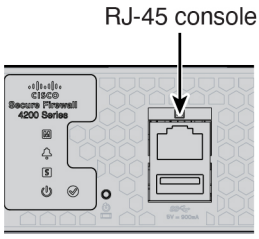
ASA CLI へのアクセス

設定またはトラブルシューティングのために CLI にアクセスする必要がある場合があります。

手順

ステップ 1 コンソールポートに接続します。

図 *4:* コンソール ポート



ステップ 2 ユーザー実行モードで ASA CLI に接続します。このモードでは、多くの **show** コマンドを使用できます。

```
ciscoasa>
```

ステップ 3 特権 EXEC モードにアクセスします。このパスワード保護モードでは、コンフィギュレーション モードへのアクセスなどのさまざまなアクションを実行できます。

enable

enable コマンドを最初に入力したときに、パスワードを変更するように求められます。

例：

```
ciscoasa> enable
Password:
The enable password is not set. Please set it now.
Enter Password: ******
Repeat Password: ******
ciscoasa#
```

ステップ 4 グローバル コンフィギュレーション モードにアクセスします。

configure terminal

例：

```
ciscoasa# configure terminal
ciscoasa(config)#
```

ステップ 5 FXOS CLI にアクセスします。この CLI は、ハードウェア レベルでのトラブルシューティングに使用します。

connect fxos [**admin**]

- **admin**：管理者レベルのアクセスを提供します。このオプションを指定しないと、読み取り専用アクセスになります。管理者モードであっても、コンフィギュレーション コマンドは使用できないことに注意してください。

ユーザーはクレデンシャルの入力を求められません。現在の ASA ユーザー名が FXOS に渡されるため、追加のログインは必要ありません。ASA CLI に戻るには、**exit** と入力するか、**Ctrl+Shift+6** を押し、**x** と入力します。

例：

```
ciscoasa# connect fxos admin
Connecting to fxos.
Connected to fxos. Escape character sequence is 'CTRL-^X'.
firepower#
firepower# exit
Connection with FXOS terminated.
Type help or '?' for a list of available commands.
ciscoasa#
```

ライセンスの取得

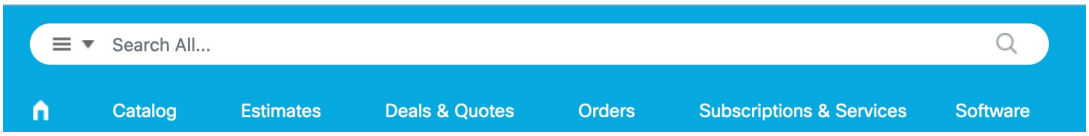
ライセンスは、シスコまたは販売代理店からデバイスを購入した際に、スマート ソフトウェア ライセンシング アカウントにリンクされています。Smart Software Manager にアカウントがない場合は、リンクをクリック して新しいアカウントを設定します。

Cisco ASA には次のライセンスがあります。

- Essentials：必須
- セキュリティ コンテキスト
- キャリア（Diameter、GTP/GPRS、M3UA、SCTP）
- Cisco Secure Client

1. 自身でライセンスを追加する必要がある場合は、Cisco Commerce Workspace で [すべて検索（Search All）] フィールドを使用します。

図 *5:* ライセンス検索



2. 次のライセンス PID を検索します。

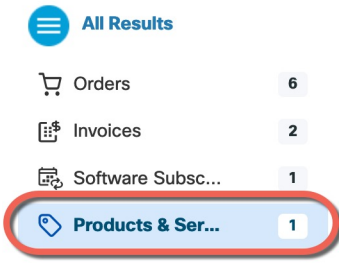
（注） PID が見つからない場合は、注文に手動で PID を追加できます。

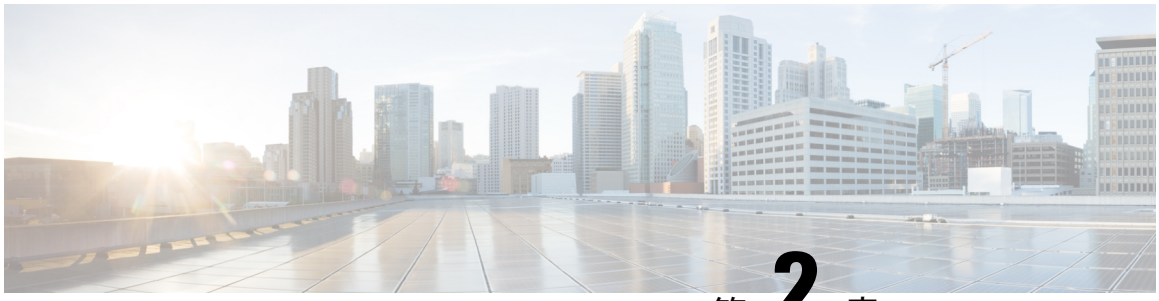
- Essentials：自動的に含められます。
- 5 コンテキスト：L-FPR4200-ASASC-5=。コンテキストライセンスは追加的です。複数のライセンスを購入します。
- 10 コンテキスト：L-FPR4200-ASASC-10=。コンテキストライセンスは追加的です。複数のライセンスを購入します。

- キャリア（Diameter、GTP/GPRS、M3UA、SCTP）：L-FPR4200-ASA-CAR=
- Cisco Secure Client：『Cisco Secure Client Ordering Guide』を参照してください。ASA では、このライセンスを直接有効にしないでください。

3. 結果から、[製品とサービス（Products & Services）] を選択します。

図 *6 :* 結果





第 2 章

基本ポリシーの設定

ライセンスを設定し、ASDM ウィザードを使用してデフォルト設定に追加します。

（任意）IP アドレスの変更

デフォルトでは、次のインターフェイスから ASDM を起動できます。

- イーサネット 1/2：192.168.1.1
- 管理 1/1：DHCP からの IP アドレス

デフォルトの IP アドレスを使用できない場合は、ASA CLI でイーサネット 1/2 インターフェイスの IP アドレスを設定できます。

手順

ステップ 1 コンソールポートに接続し、グローバル コンフィギュレーション モードにアクセスします。ASA CLI へのアクセス （4 ページ）を参照してください。

ステップ 2 選択した IP アドレスを使用してデフォルト設定を復元します。

configure factory-default [*ip_address* [*mask*]]

例：

```
ciscoasa(config)# configure factory-default 10.1.1.151 255.255.255.0
Based on the management IP address and mask, the DHCP address
pool size is reduced to 103 from the platform limit 256

WARNING: The boot system configuration will be cleared.
The first image found in disk0:/ will be used to boot the
system on the next reload.
```

```
Verify there is a valid image on disk0:/ or the system will
not boot.

Begin to apply factory-default configuration:
Clear all configuration
Executing command: interface ethernet1/2
Executing command: nameif inside
INFO: Security level for "inside" set to 100 by default.
Executing command: ip address 10.1.1.151 255.255.255.0
Executing command: security-level 100
Executing command: no shutdown
Executing command: exit
Executing command: http server enable
Executing command: http 10.1.1.0 255.255.255.0 management
Executing command: dhcpd address 10.1.1.152-10.1.1.254 management
Executing command: dhcpd enable management
Executing command: logging asdm informational
Factory-default configuration is completed
ciscoasa(config)#
```

ステップ 3 デフォルト コンフィギュレーションをフラッシュメモリに保存します。

write memory

ASDM へのログイン

ASDM を起動して、ASA を設定できるようにします。

手順

ステップ 1 ブラウザに次の URL のいずれかを入力します。

- **https://192.168.1.1**：内部（Ethernet 1/2） インターフェイスの IP アドレス。
- **https://***management_ip*：DHCP から割り当てられた管理 1/1 インターフェイスの IP アドレス。

（注）
必ず **https://** を指定してください。

[Cisco ASDM] Web ページが表示されます。ASA に証明書がインストールされていないために、ブラウザのセキュリティ警告が表示されることがありますが、これらの警告は無視して、Web ページにアクセスできます。

ステップ 2 [ASDMランチャーのインストール（Install ASDM Launcher）] をクリックします。

ステップ 3 画面の指示に従い、ASDM を起動します。

[Cisco ASDM-IDMランチャー（Cisco ASDM-IDM Launcher）] が表示されます。

ステップ 4 ユーザー名とパスワードのフィールドを空のままにして、[OK] をクリックします。

メイン ASDM ウィンドウが表示されます。

ライセンスの設定

Smart Software Manager でファイアウォールを登録します。

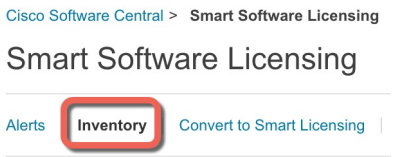
始める前に

ライセンスの取得 （6 ページ）に従ってファイアウォールのライセンスを取得します。

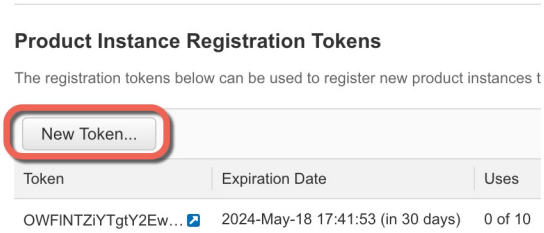
手順

ステップ 1 Cisco Smart Software Manager で、このデバイスを追加する仮想アカウントの登録トークンを要求してコピーします。

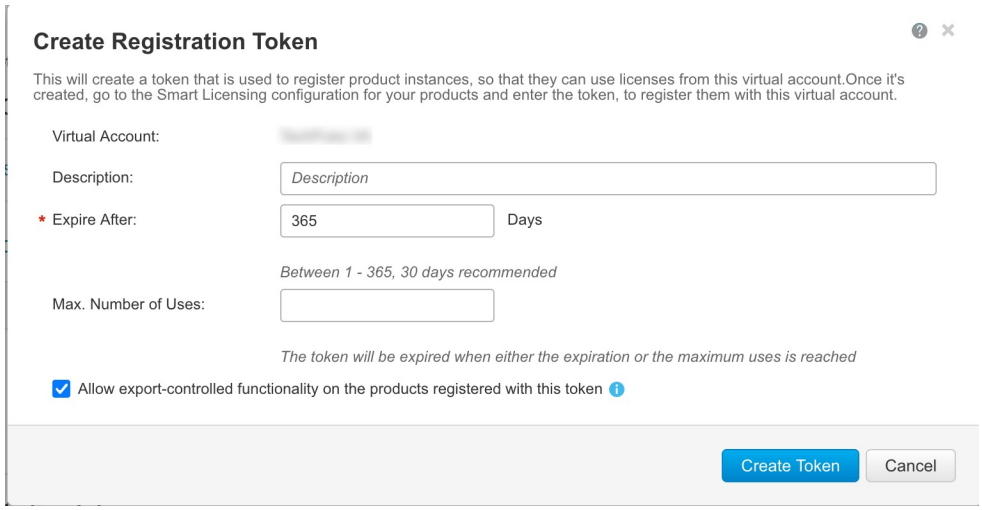
a) [インベントリ（Inventory）] をクリックします。



b) [一般（General）] タブで、[新しいトークン（New Token）] をクリックします。



c) [登録トークンを作成（Create Registration Token）] ダイアログボックスで、以下の設定値を入力してから [トークンを作成（Create Token）] をクリックします。



- 説明
- [有効期限（Expire After）]：推奨値は 30 日です。
- 最大使用回数（Max. Number of Uses）
- [このトークンに登録された製品で輸出管理機能を許可する（Allow export-controlled functionality on the products registered with this token）]：輸出コンプライアンス フラグを有効にします。

トークンはインベントリに追加されます。

d) トークンの右側にある矢印アイコンをクリックして[トークン（Token）]ダイアログボックスを開き、トークンIDをクリップボードにコピーできるようにします。ASAの登録が必要なときに後の手順で使用するために、このトークンを準備しておきます。

図 7: トークンの表示

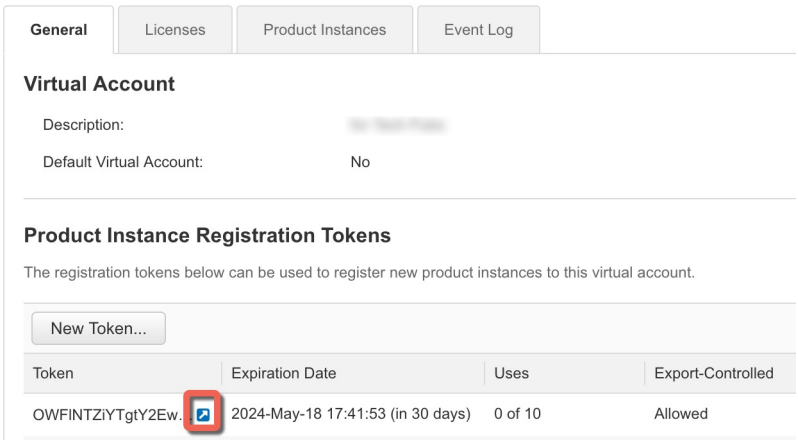
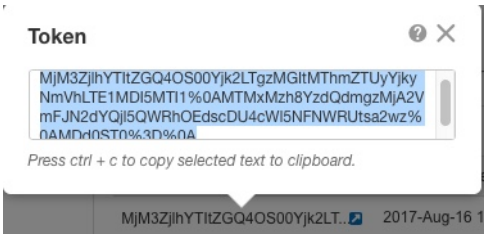


図 *8*: トークンのコピー



ステップ 2 ASDM で、**[設定（Configuration）] > [デバイス管理（Device Management）] > [ライセンシング（Licensing）] > [スマートライセンシング（Smart Licensing）]** の順に選択します。

ステップ 3 ライセンスと資格を設定します。

a) [スマートライセンス設定の有効化（Enable Smart license configuration）] をオンにします。

b) [機能階層（Feature Tier）] ドロップダウンリストから [Essentials] を選択します。

使用できるのは Essentials 階層だけです。

c) （任意） [コンテキスト（Context）] ライセンスの場合、コンテキストの数を入力します。

2 コンテキストはライセンスなしで使用できます。コンテキストの最大数は、モデルによって異なります。

- Cisco Secure Firewall 1210：5 コンテキスト
- Cisco Secure Firewall 1220：10 コンテキスト

たとえば、Firepower 1220 で最大 10 のコンテキストを使用するには、コンテキストの数として 8 を入力します。この値は、デフォルトの 2 に追加されます。

- Cisco Secure Firewall 4200：250 コンテキスト

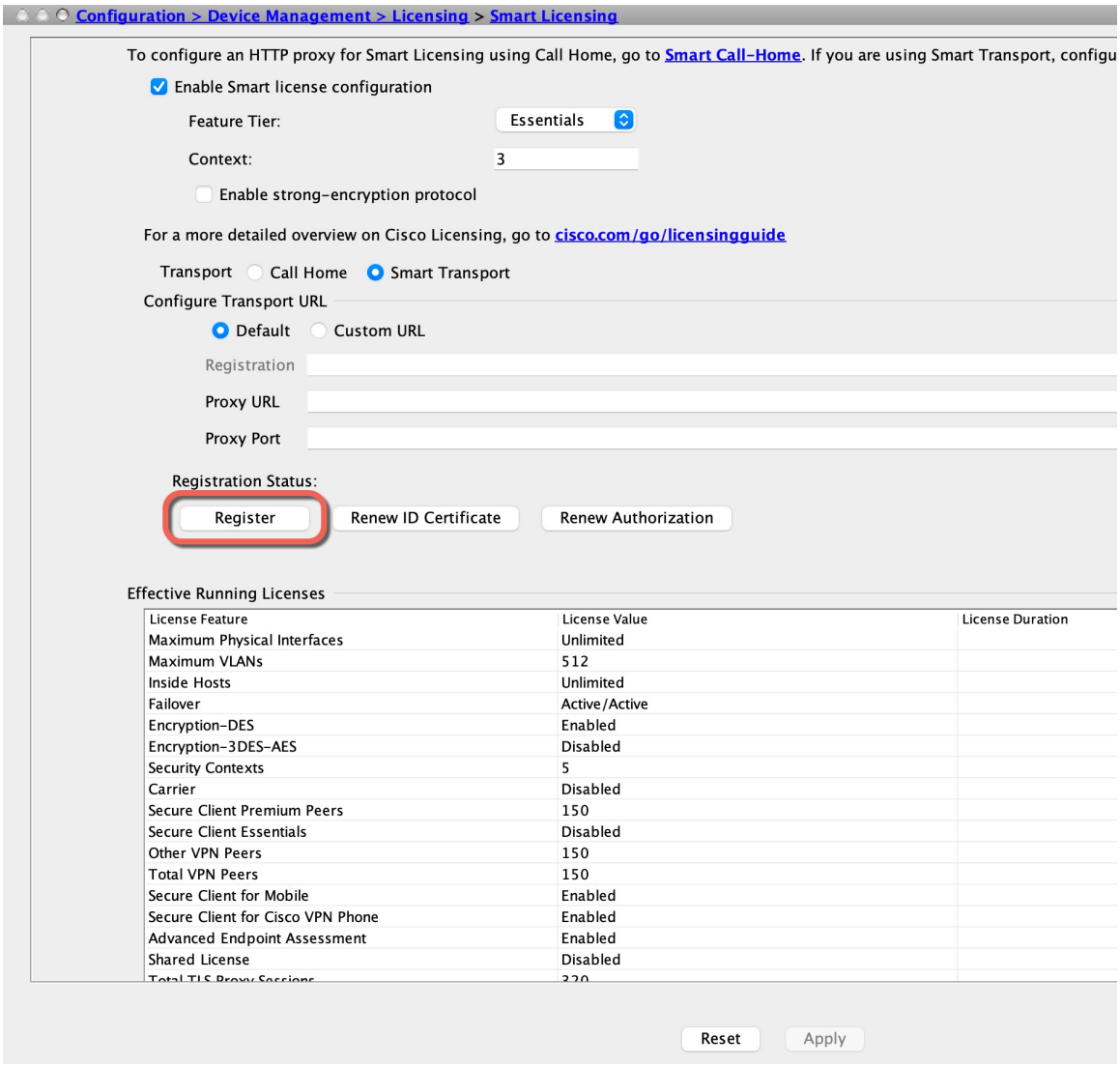
たとえば、Cisco Secure Firewall 4215 で最大 100 のコンテキストを使用するには、コンテキストの数として 98 を入力します。この値は、デフォルトの 2 に追加されます。

d) （任意） Diameter、GTP/GPRS、SCTP インスペクションの [キャリアの有効化（Enable Carrier）] をオンにします。

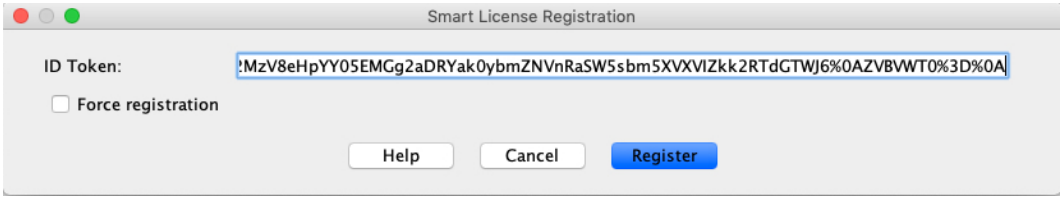
e) [適用（Apply）] をクリックします。

f) ツールバーの [保存（Save）] アイコンをクリックします。

ステップ 4 [登録（Register）] をクリックします。

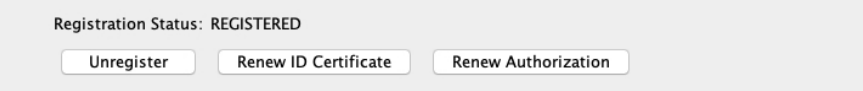


ステップ 5 [IDトークン（ID Token）] フィールドの [Cisco Smart Software Manager] に登録トークンを入力します。



ステップ 6 [登録（Register）] をクリックします。

ライセンス ステータスが更新されると、ASDMによってページが更新されます。また、登録が失敗した場合などには、**[モニタリング（Monitoring）] > [プロパティ（Properties）] > [スマートライセンス（Smart License）]** の順に選択して、ライセンススタータスを確認できます。



ステップ 7 ASDM を終了し、再起動します。

ライセンスを変更する場合、更新された画面を表示するには ASDM を再起動する必要があります。

Startup Wizard による ASA の設定

ASDM を使用する際、基本機能および拡張機能の設定にウィザードを使用できます。Startup Wizard はデフォルト設定に基づいています。

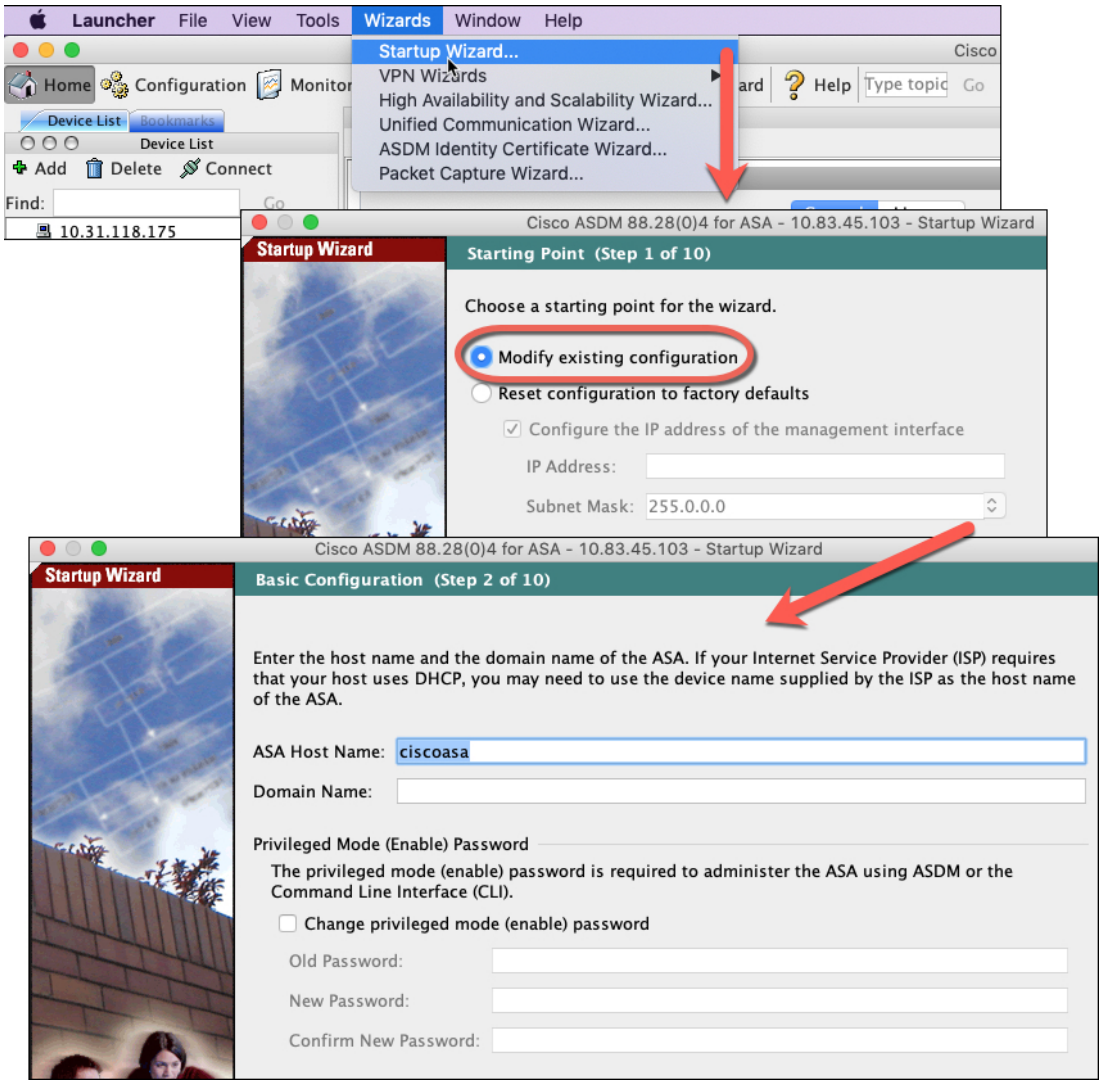
- 内部→外部トラフィックフロー
- 内部から外部へのすべてのトラフィック用のインターフェイス PAT。

[Startup Wizard] では、手順を追って以下を設定できます。

- イネーブル パスワード
- インターフェイス（内部および外部のインターフェイス IP アドレスの設定やインターフェイスの有効化など）
- スタティック ルート
- DHCP サーバー
- その他...

手順

ステップ 1 [Wizards] > [Startup Wizard] の順に選択し、[既存の設定の変更（Modify existing configuration）] オプションボタンをクリックします。



ステップ 2 各ページで [次へ（Next）] をクリックして、必要な機能を設定します。

ステップ 3 その他のウィザードについては、ASDM の一般的な操作のコンフィギュレーション ガイドを参照してください。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

翻訳について
このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。